

令和5年7-9月期調査

「経営上の問題点を解決するための要望など」

【製造業】

●生産設備の不足については、県や市の補助金も利用させて頂き、対応予定。新規参入業者（市外）に負けないよう、PRや広報（イベント出店など）に対する支援が充実していると嬉しいです。

【建設業】

●回答なし。

【卸売業】

●回答なし。

【小売業】

●後継者がいない。

【サービス業】

●高齢のお客さんがもどらない。価格転嫁ができない。

●コロナウイルス感染症も5類に移行しましたが、まだマスク生活、手指消毒生活は続いています。2～3年前に比べお客様の来店も少しずつ増え売上も上がってきていますが、その分光熱費の値上がり、経費も上がってきて2～3年前と変わらない気がします。まだまだ気をつけてコロナウイルスに感染しお客様に迷惑がかからないように頑張っているところです。

●インボイスがはじまり、事務仕事がややこしい。

令和5年7-9月期調査 「業界の課題として感じていること」

【製造業】

●原材料、資材費、人件費が上昇する中、価格転嫁は難しい状況です。酒税の税率引き下げ、軽減税率制度をうまく利用して、利益率の向上をめざす必要があると考えています。

【建設業】

●回答なし。

【卸売業】

●回答なし。

【小売業】

●インボイス制度が10月より実施されるが、登録事業者以外から仕入ることがあるので税金の負担が増える。税金を徴収しやすい所から取る方法であるので今後の中小企業の経営の圧迫要因になる事は確かであると思う。

●2022年は三隅火電第2号機建設で受注が激増でしたので、2023年と比較すると大幅減少になりますが、コロナの収束に伴い、一般の受注が確実に増加しています。減少評価が多いものの状況は好転しています。

【サービス業】

●店主の高齢化です。このまますすめば、お店もなくなりお客様はどうされるのか？と時々思います。

